

思い感じたことを
徒然なるままに

くんぱるたより

H28 6/30 NO.64



☆ 大きな目標に向けて

蒸し蒸しした毎日で体も重く、過ごしにくい季節です。熱中症や汗冷えいよる風邪などならないように気をつけていきたいと思います。

さて、一学期も残すところ一ヶ月を切ってきました、一学期は大人も子どもも慣らし期間です。くんぱるの子どもや保護者の方と話をしていても緊張が和らいできたように感じております。

常々、教育の難しさを痛感しております。こんな風に育てたら完璧に育ちます！なんて教育は存在しません。十人十色です。答えがあってない。そこが尽きない興味を抱く原動力となっております。子どもたちを見て、感じ、考えるということが自分は嫌じゃないようです。



さて、子育ての最も大きな目標は「将来自立すること」であり、おそらく、おそらく、共通の目標かと思います。その為に、習い事をさせ、いろんなところに連れて行き、我が子の意欲、能力を見極め導いてやれたらと考えているのかと思います。



この、自立させるために親は何をするか…。10歳が境界線です。ドイツのシュタイナーでは9歳までは子どもはメルヘンの世界にいてと言われております。花まる学習会の高濱代表も9歳まではおたまじゃくし(赤ちゃん)であり、カエル(成人)ではないと言っております。9歳までは何度言ってもわからないから、繰り返しか無いとも。くんぱるの子たちを見ていても4年生の3学期に変わってきます。今までの接し方だと反応が違います。5年生からは、呼び方も、話し方も、距離感も変えていく時期になります。口答えします。子どもが抵抗します。それが反抗期なのでしょう。「自分でできるから構うな！」みたいなものが込められているのでしょうか。かわいいから構いたい気持ちをグッと抑え、22歳以降自立し生きていくために、まさに見守るようにせねばならない時期の始まりなのでしょう。はたまたつかずはなれずの精神でしょうか…。

そして、大人の何よりの恥は、我が子が社会に馴染めずこの世の中で生き抜けないこと。自然の摂理に従えば、親は先に死を迎えます。我が子が死を迎えるまで面倒を見ることはできません。私はくんぱるに来てくれている子が将来、社会に馴染めず、実家で引きこもりなんてさせたくない。人生、むしろ困難だらけ。我々が今、社会で経験しているのに、この先困難のない世の中になるのでしょうか？なるとは思いません。むしろもっと厳しい社会になってくると思います。その時にいきなり我が子がどんな困難も乗り越えられる人間に覚醒するか？答えはノーです。下地があったの覚醒。褒めるだけの下地ではなく、厳格、緊張、のような下地も絶対に必要です。寧ろ、現代っ子はこちらが弱い傾向にあるように思えます。



親の立場ですと、困難は取り除きすぎではいけません。幼児期や思春期に子ども自身がどれだけの困難を自分で乗り越えるかが後の人生で大きな力を発揮します。それを経てない今の20代、特に男性に多いですが「心がポキッと折れ」「引きこもる」のでしょうか。

小さなことから始めることはできます。例えば、子どもの荷物は自分で持たすことだけでも自立への道筋になります。幼児、低学年から少しずつ干渉する機会を減らし、自分でやる、やれる機会を増やし、将来を明るく前向きに暮らせる子にしてあげたいですね。

☆ お知らせ ☆

- ・口座振替は7月分の利用料を8/26(金)引き落としで、それ以降未締め翌26日支払となります。
- ・利用予定の変更は当日午前中までにご連絡(電話、メール、LINE)くださるようお願い申し上げます。
- ・ミシェルを広報担当にし、日々の活動をブログにて毎日更新するように致しました。HPにて御覧ください。